

I 事業報告

総括的事項	1
1 公益目的事業1 [公1] (文化振興事業)	1 ~ 7
2 収益事業1 [収1] (県民文化センター自主事業)	7 ~ 8
3 公益目的事業2 [公2] (水族館事業)	9 ~ 21
4 収益事業2 [収2] (水族館売店事業)	22 ~ 23
5 法人運営事業	24

I 令和2年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを踏まえた魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

総括的事項

第4期中期経営計画（2016年度～2020年度）に沿った運営に努めた。

(1) 文化芸術活動への助成については、計画46件に対し、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止等を余儀なくされたことから、文化活動団体等20件について財政的な支援を行った。

また、コロナ禍においても、若手演奏家の育成・支援等、個性豊かな本県文化形成を推進するための9事業を実施し、本県の文化芸術の振興に努めた。

(2) 文化芸術に接する機会の提供についても、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に当初事業計画を見直し、感染症防止対策の徹底を図りながら、親子で楽しめる人形劇や県民要望の高いコンサート3事業を実施した。

(3) 茨城県立県民文化センターの運営については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県からの通知に基づき、令和2年4月14日から5月19日及び令和3年1月18日から2月7日までの2度にわたり休館した。再開にあたっては、県等の指針やガイドラインを踏まえた新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全・安心に施設を利用できるよう努めた。

また、施設の利用を中止した団体等に対しガイドライン等を踏まえた利用案内や、密にならないステージの利用方法の営業案内などを行い施設の利用促進に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設全体の利用者数は開館以来最低の129,695人となった。

(4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めるとともに、新たに新規入場者層開拓のために導入した夜間営業をはじめ、12月に開館以来の大規模なリニューアルを行って誘客を試みたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、4月・5月で41日間、1月・2月で23日間の休館となり、団体利用者や一般利用者的大幅減少がみられ、入場者数は645,052人となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成

新型コロナウイルス感染症拡大の影響においても、創意工夫し自主的で個性的な文化活動を行っている文化活動団体等に対し、支援の拡充を図った追加募集分を含む20件に助成した。

今後は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、コロナ禍においても、各団体が行う文化活動をより多くの県民に鑑賞してもらえる新たな施策が必要となる。

区分	実績	計画	増減
件数	20件	46件	△26件
助成額	5,916千円	15,424千円	△9,508千円

※令和2年度追加募集

募集期間：令和2年10月1日～11月20日、申請数：4件、採択：1件（500千円）

イ 参加創造事業（9事業）

新型コロナウイルスの影響で演奏機会が減少している若手演奏家を起用し、音楽の力で県民の心を元気づける演奏会「いばらき応援コンサート」や、新進演奏家のステップアップを目的とした演奏会などを、感染症防止対策を適切に講じながら実施し、鑑賞者及び演奏家の双方から好評を得た。

また、コロナ禍においても、県民への芸術文化に接する機会の提供と若手演奏家等への更なる支援強化が図れるよう、本県ゆかりの若手演奏家による追加演奏会や本県出身で松本清張賞受賞者による文化講演会、そして音楽の専門家や指導者との協働で演奏テクニックや音楽の魅力を伝える動画配信事業を追加で実施し、当該事業数は、計画6事業に対し9事業、若手演奏家については、計画24人に対し54人を起用し支援の拡充に努めた。

入場者数については、メディアへの出演や新聞・雑誌等への記事提供を積極的に行うとともに、新たに当該事業の出演者や財団登録アーティストの SNS を活用した広報活動を行い計画を上回ることができた。（記事等掲載数：16 媒体 60 回、Twitter 配信者数：71 人）

さらに、ソーシャルディスタンスを確保した座席数でも、適切な入場料金で提供するため助成金の活用をはじめ、新たに企業協賛金とクラウドファンディングを実施し、財源確保に努めた。（12,337 千円）

今後も、ガイドラインに沿って感染症防止対策の徹底を図り、そして協賛金の確保や助成事業を積極的に活用しながら、若手演奏家を起用し県民が参加できる演奏会や新たな取り組みによる事業などを積極的に展開していく。

（ ）は計画数値

実施日	公演名	会場	回数	入場者数
8月8日（土）	今こそ届け！音楽のチカラ 2020 いばらき応援コンサート	小ホール	1	115人
8月16日（日）		小ホール	1	115人
9月12日（土）		大ホール	1	219人
9月21日（月・祝）		小ホール	1	124人
10月24日（土）	文化講演会	小ホール	1	130人
10月31日（土）	新進演奏家支援・育成事業① 「ミュージックカフェ Vol.6」	小ホール	1	131人
11月15日（日）	新進演奏家支援・育成事業② 「新人演奏会受賞者コンサート」	常陽藝文センター	1	146人
11月5日（木）	新進演奏家支援・育成事業③ 「オペラレクチャーコンサート」	小ホール	1	129人
11月24日（火）		小ホール	1	134人
11月29日（日）	第46回茨城県新人演奏会 (9/27・オーディション)	大ホール	1	369人
12月11日（金）	新進演奏家支援・育成事業④ 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」	小ホール	1	118人
1月19日（火） 20日（水） 25日（月） 26日（火） （※収録日）	いばらき未来の音楽家育成事業 「いばらき MUSIC デリバリー」 （動画配信期間：3月1日～31日）	大ホール （収録会場）	1	無観客 （閲覧数 3,536）
2月23日（火・祝）	今こそ届け！音楽のチカラ 2021	小ホール	1	65人
3月21日（日）	いばらき応援コンサート プレミアム	大ホール	1	161人
計9事業（6事業）			14 (10)	1,956人 (1,320人)

ウ 受託事業（2事業）

将来の文化芸術の担い手の育成や県民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供し文化への関心を高めることを目的に、オーケストラの公演事業と文化体験出前講座を実施した。

公演事業では、県内ゆかりの演奏家で構成したオーケストラ公演を、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い無観客オンライン配信事業として実施した。なお、新聞広告等で広く周知するとともに、インターネット広告や SNS を活用しターゲットを絞った広報活動で多くの方が動画を視聴し、広く県民への文化振興を図ることができた。

また、文化芸術体験出前講座については、当該事業用に策定したガイドラインに沿って、会場となる各学校等との連絡等を密に行いながら感染症対策を徹底し、コロナ禍にあっても計画 88 校に対し 71 校で実施することができた。これらの講座実施により、音楽家による生演奏や専門家による文化の歴史や技術の解説など授業では経験できない体験型プログラムを通して、各分野の魅力を伝え関心を高めることができた。

しかしながら、当該講座で密になる恐れなどから感染症の拡大を懸念して中止した学校もあることから、今後、学校の意向を踏まえて、コロナ禍でも実施可能となる手法を導入し、安全安心で多様な事業展開を図っていく。

() は計画数値

実施日	公演名	会場	回数	入場者数
1月24日(日) (※収録日)	みんなで楽しむオーケストラ (動画配信期間:3月1日~31日)	大ホール (収録会場)	1	無観客 (閲覧数 3,263)
7月~3月	文化芸術体験出前講座 ・音楽:38校 ・美術(絵画・書・陶芸):14校 ・伝統文化(華道・茶道):13校 ・希望枠(能楽・食文化):6校	県内小中高等学校 特別支援学校	71	5,670人
計2事業(2事業)			72 (89)	5,670人 (10,500人)

エ 若手演奏家等への支援

大洗水族館や茨城空港などの県内公立施設等への演奏家派遣(4件、15名)や文化活動団体等への後援(6件)を実施し、県内で活動している文化団体等への支援を行った。

特に、演奏家の派遣事業では、他施設等とタイアップして事業を実施し、より多くの方の目に触れることで、演奏家の知名度を上げ演奏活動の幅を広げる機会を提供した。

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 公演事業（計3事業）

年間を通して、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、当該感染症に対するガイドラインも随時変更される中、公演事業の継続及び追加の調整を行い、感染症防止対策の徹底を図りながら3事業4公演を開催した。

また、公演のソーシャルディスタンス確保のために入場数の制限がある中で、演劇公演の回数を1回から2回へ変更し入場数の確保を図ったほか、SNS や動画配信等の Web 媒体を活用した情報発信を行うことなどにより、入場者数の確保を図り収支の改善に努めた。

なお、令和2年度から、チケットが24時間購入可能なWebチケット販売システムの導入により、利用者の利便性の向上と新規鑑賞者の開拓に努めた。

今後も、県等のガイドラインに沿って感染症防止対策の徹底を図りながら、県民ニーズを踏まえて、質の高い舞台芸術公演や様々な年代の方により多く鑑賞していただける公演をバランスよく開催し、多種多様なジャンルの舞台公演に接する機会を提供していく。

()は計画数値

ジャンル	実施日	公演名	会場	回数	入場者数
その他	10月25日(日)	美輪明宏講演会	大ホール	1	1,014人
演劇	12月19日(土)	人形演劇「ばけものづかい」	小ホール	2	308人
音楽 クラシック	3月6日(土)	高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト	大ホール	1	714人
計3事業(3事業)				4 (3)	2,036人 (850人)

イ 施設利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年4月14日から5月19日及び令和3年1月18日から2月7日までの2回、県からの通知に基づき当館を臨時休館した。なお、利用が可能となった日も、大ホールや小ホールを中心に、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないことから、多くの催しのキャンセルが続いた。また、収容率の制限のあるポップス等のコンサートについては、採算性の観点から延期または中止する状況が見られた。

そのため、施設の利用を中止した団体に対して、ガイドライン等を踏まえた当館の利用案内を行ったほか、密にならないステージの利用方法などを関係団体に提示し、安全・安心な施設の利用促進に努めるとともに、これまで利用実績のある約200団体に対し、直接、電話やファックス等で空き施設の利用案内を行った。これらの取組みにより、最終的に文化センター全体の利用者は、補正後の計画数値は上回ったが、昨年度よりも大幅に減少し、開館以来最低の129,695人（参考：東日本大震災翌年平成23年度192,133人）となった。

今後、このような状況下にあっても、感染症防止対策を徹底し、新たに整備された動画配信設備の案内を行いながら、新規団体やリピーターへの営業活動を積極的に実施し、誘客促進を図り利用者確保に努めていく。

施設利用実績

区分	利用者数 (人)	利用日数 (日)	利用料金 (円)	利用率 (%)
大ホール (R2 計画) (R1 実績)	28,571 (8,100) (226,552)	102 (40) (255)	19,024,385 (5,800,000) (57,569,520)	41.0 (15.2) (82.5)
小ホール (R2 計画) (R1 実績)	11,318 (6,500) (60,165)	95 (79) (222)	4,893,835 (3,858,000) (10,752,050)	35.2 (27.3) (73.0)
本館集会室 (R2 計画) (R1 実績)	36,129 (15,200) (72,494)	226 (177) (282)	3,182,711 (2,189,000) (5,401,162)	77.4 (58.4) (89.5)
分館集会室 (R2 計画) (R1 実績)	17,081 (8,900) (34,373)	261 (232) (298)	8,197,602 (3,919,000) (11,041,011)	84.7 (74.4) (91.7)
和室 (R2 計画) (R1 実績)	429 (350) (3,300)	49 (47) (138)	370,131 (248,000) (1,194,296)	17.0 (15.6) (43.7)
一般展示室 (R2 計画) (R1 実績)	17,800 (17,800) (58,019)	95 (111) (221)	2,182,990 (2,383,000) (5,283,400)	32.0 (35.6) (72.5)
県民ギャラリー (R2 計画) (R1 実績)	17,795 (22,100) (57,081)	96 (111) (194)	1,743,360 (1,927,000) (3,598,920)	32.2 (35.6) (61.6)
練習室 (R2 計画) (R1 実績)	572 (150) (1,743)	80 (18) (100)	285,431 (65,000) (391,920)	26.7 (5.8) (28.8)
計 (R2 計画) (R1 実績)	129,695 (79,100) (513,727)	1,004 (815) (1,710)	39,880,445 (20,389,000) (95,232,279)	43.3 (33.9) (67.4)

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

ウ 施設の利用促進及びサービスの向上

(ア) 1月限定割引による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定の施設利用料金 50%割引を引き続き実施したが、本県独自の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため、令和3年1月18日から2月7日までの間、県民文化センター全体が原則休館となったことから、割引期間中の催事の多くが中止又は延期となり、利用日数及び人数は計画を下回った。

区分	R2 実績 (A)	R2 計画 (B)	R1 実績	増減 (A)-(B)
利用日数(日)	47	51	22	△4
該当利用人数(人)	2,163	4,040	13,469	△1,877
利用率 (%)	61.3	42.1	84.6	19.2

※対象5施設の合計(日数・人数)及び平均(利用率=利用日数/利用可能日数)

※R1は、一般展示室及び集会室前廊下改修工事により、対象施設は大ホールのみ

(イ) 新規利用団体及びリピーターの確保

ホームページによる情報提供は、催事及び大・小ホール・練習室の空き状況等の最新情報の提供を継続したほか、新たに展示室・県民ギャラリー・和室の空き情報の提供を開始し利用促進に努めた。そのほか、近隣市町村の文化施設及び関係各団体等約 500 団体へ情報誌「催し物ご案内」(11,000 部)を毎月発送し、情報提供及び来館者の確保に努めた。

また、利用実績のある約 200 団体に対し、直接、電話やファックス等で空き施設の利用案内を行ったほか、営業促進員によるコンベンション等の誘致にも努めた。

なお、8 月には、新型コロナウイルスの影響で、コンクールの機会を失った県内吹奏楽関係者から相談を受け、ガイドラインに基づいたステージの使用方法等を提供し、2 日間、4 部門にわたる「2020 茨城県学校吹奏楽コンテスト(思い出づくりコンサート)」や換気の良いホールでの練習等を開催することができ、参加者より好評を得た。

今後も、ホームページや催し物案内による情報提供や、ガイドラインに基づいたステージ使用方法の提供による学校への利用案内、新たに整備された動画配信設備の案内を行いながらリピーター等への電話や訪問等を実施し、更なる施設の利用促進に努めていく。

(ウ) 各団体との連携

茨城県及び水戸観光コンベンション協会等、関係各団体との連携による全国規模や地域ブロック規模の大会等の誘致や情報交換を行い、コロナ禍にあったが、日本放射線影響学会などコンベンション等 5 事業を誘致した。

また、茨城文化団体連合や茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連携による加盟施設館との情報共有と施設の利用促進に努めた。

(エ) サービスの向上

満足度調査(アンケート調査)は、来館者と主催者双方を対象として毎月実施し、展示室の室温調整やトイレのつまりなど 7 件中 5 件の対応を行った。

また、チケット販売については、窓口での販売に加えインターネットによりチケット購入が出来る Web チケット販売システムを導入、新たに Web 会員登録も行い、チケット購入の利便性向上を図った。(Web 会員登録者: 356 人(令和 3 年 3 月 31 日現在))

さらに、ホームページは、トップページ等の画像を変更し、利用者にとって見やすく、そしてわかりやすくなるよう、一部リニューアルを実施した。

(オ) 県民文化センター友の会の運営

追加で実施した「いばらき応援コンサート」においては、コロナ禍にも関わらず、鑑賞者全体に占めている友の会会員の比率は約 3 割と当センターの公演事業の大きな支援となっているが、新型コロナウイルス拡大の影響により、文化センターで開催される公演事業数の減少による友の会先行予約等の減が大きな要因で、会員数が減少する結果となった。

会員数	1,779 人 (令和 3 年 3 月 31 日現在) (昨年度 1,995 人)
事業内容	・チケット割引サービスの実施 ・催し物案内の配布 他

(カ) 「スタインウェイを体感しよう」の開催

県民文化センターが管理するスタインウェイ社製のフルコンサートピアノの有効活用と良好な状態を維持管理するため、希望者に対し演奏機会を提供する事業を実施するとともに、新たに他の楽器とのアンサンブル演奏なども可能とし、利用者の多様な要望に応えた。

(実施回数：7回 応募総数：122人 参加人数69人)

エ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備

県民文化センターは開館から55年が経過し施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ計画的な修繕を実施し安全確保に努めた。また、緊急性の高い修繕箇所は優先し迅速に修繕を実施し、指定管理事業部門修繕工事及び県直轄工事を実施した。

また、新型コロナ感染症対策については、ガイドラインを遵守し各施設内での感染防止対策を行った。

<指定管理事業部門修繕工事>

受動喫煙対策に伴う喫煙所の設置や安全確保の観点から中庭御影石防滑加工工事、大ホール男子多目的トイレ自動ドア化など33件の修繕工事を行い、安全で安心して利用していただける施設づくりに努めた。

<県直轄工事>

本館温水ボイラー更新、展示棟屋上防水工事、分館電気室コンデンサ交換工事など7件の改修工事を行った。今後も、県と協議を行いながら、計画的な修繕を実施し、安全安心な施設づくりに努めていく。

(イ) 危機管理対策

不特定多数の利用者が来館されることから、年2回の避難訓練(火災訓練・大規模地震避難訓練)を実施し安全確保に努めた。

また、緊急時に迅速な対応ができるよう、平常時より危機管理への備えを万全にしておくため、危機管理対応マニュアルを全職員及び業務委託先等に配布し、防災意識向上に留意して利用者の安全確保に努めた。

2 収益事業1(県民文化センター自主事業)

(1) 売店事業

新型コロナ感染症の影響で県民文化センターが休館となったこと等を受け、令和2年4月14日から令和2年6月30日までの間及び、令和3年1月18日から令和3年2月7日の間、臨時休業となった。

また、利用状況に応じた営業日及び営業時間とすることで、効率的な営業に努めるとともに、集会室等に営業日を周知し利用促進を図る等の結果、計画を上回ることができたが、感染症拡大の影響は大きく、令和元年度実績から大幅な減となった。

区分	R2実績 (A)	R2計画 (B)	R1実績	増減 (A)-(B)
売店利用者数(人)	3,704	3,600	28,699	104
売店売上額(円)	1,811,874	1,592,000	13,519,969	219,874

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場を利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営を行った。

利用状況は、補正の計画を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で各施設での催事中止等による利用者の大幅減や、同感染症の影響による県民文化センターの休館とともに、令和2年4月29日から令和2年5月11日までの間駐車場利用を休止したことなどにより、令和元年度の実績(146,478台)を大きく下回った。

区 分	R2 実績 (A)	R2 計画 (B)	R1 実績	増 減 (A)-(B)
駐車場収入	7,737,110 円	5,200,000 円	26,460,290 円	2,537,110 円
利用台数	55,791 台	51,000 台	146,478 台	4,791 台
料 金 徴 収 状 況	全額徴収	9,277 台	41,559 台	3,738 台
	1/4 免除	3,240 台	23,709 台	2,946 台
	1/2 免除	1,425 台	8,397 台	83 台
	全額免除	10,092 台	47,613 台	9,671 台
	還 付	26,966 台	25,200 台	△11,647 台

3 公益目的事業 2 (水族館事業)

基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、予防対策として4月10日(金)まで解説等プログラムを中止し、一部エリアを閉鎖して営業を行った。なお、全国的感染拡大の影響で4月11日(土)から5月17日(日)まで、感染対策として休館とした。営業再開後は、オーシャンライブ等一部のプログラムのみ実施し、ほとんどのプログラムを自粛した状況で、感染予防対策を実施しながらの通常営業となった。その後も、1月18日(月)から2月9日(火)まで休館となり、感染対策を実施しながらの営業が続いた。

なお、12月に開館以来となる大規模リニューアルが行われ、約1万体のミズクラゲを展示する「くらげ365」大水槽をはじめ、サメをテーマとした「シャークダディズルーム」においては、様々なサメのコレクションを紹介するコーナーに改修した。

また、VR水槽「シャークリウム」では、飼育が困難なホホジロザメや雄大なジンベエザメの遊泳する姿を再現したほか、「シャークダディズルーム」内には、コレクターズショップ“ガレオス”及びリラックスカフェ“マーメイド”と2つのショップがリニューアルオープンした。

リニューアル等について、メディアへの積極的な情報発信に努めたものの総入場者数は、目標の79万6千人を下回る645,052人となった。しかしながら、付帯収入増や経費削減等に努めた結果、収支状況の一般正味財産増減額は補正予算比33.3%増の△126,104千円にとどめた。

(1) 入場者実績

(単位：人)

区 分	R2 実績 (A)	R1 実績 (B)	増 減 (A)-(B)	R2 計画 (C)	増 減 (A)-(C)
一 般	438,727	520,763	△ 82,036	642,849	△ 111,096
団 体 等	93,026	348,623	△ 255,597		
年間パスポート	10,477	14,388	△ 3,911	11,951	△ 1,474
年パス2回目以降	39,712	57,201	△ 17,489	43,900	△ 4,188
有料入場者計	581,942	940,975	△ 359,033	698,700	△ 116,758
無料入場者	63,110	113,368	△ 50,258	98,200	△ 35,090
総入場者	645,052	1,054,343	△ 409,291	796,900	△ 151,848

※前年及び計画比較

新型コロナウイルス感染症による影響により、4月・5月の臨時休館の実施や世の中の出控えムードにより、積極的なプロモーションができなかったため、ゴールデンウィークや夏の繁忙期の集客に苦戦を強いられた。しかしながら、9月から12月にかけては、外出緩和ムードも広がり、シルバーウィークや国のGoTo事業が追い風となり、順調に入場者数を伸ばすことができた。

12月18日(金)には、開館後初の大規模リニューアルを行ったが、翌1月から2月にかけては、2回目の臨時休館により、再び入場者数が落ち込み、補正予算比較で年間入場者796,900人の目標に対し、15万1千人余のマイナスとなった。

(2) 飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、移動の制限、生物の流通量の減少により生物収集の困難な状況が続いた。そのため、例年以上に魚類の飼育機器・施設の適切な管理を行い、生物の健康管理と安定した飼育環境作りに努めた。このような状況下ではあったが、採集、購入、寄贈等の生物収集や繁殖した生物により、展示生物の更新や新規生物の開拓を行い、フレキシブルな展示を心がけた。

開館以来初めて行った大規模リニューアルでは、クラゲ水槽の大型化に伴いミズクラゲの10,000匹展示を維持するために大量培養を開始したほか、シャークダディズルームではVR水槽・サメ標本展示のための情報収集に努めた。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、会瀬定置網や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。(計168回、収集生物点数294種19,442点)

(展示生物収集実績)

収集方法	回数	種類数	点数	主な生物
会瀬定置網から購入	17回	35種	170点	イタチザメ、クロヘリメジロザメ、アオリイカ、マンボウ 他
活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く)	88回	98種	15,871点	マイワシ、アベゲング、スズキアカスジエビ、サワガニ 他
漁業者等からの寄贈	22回	28種	379点	スッポン、マハゼ、センニンフグ、モヨウフグ、ヒゲソリダイ 他
県調査船 (いばらき丸)からの寄贈	10回	55種	734点	ホソヌタウナギ、アカグツ、オーストンガニ、ダーリアイソギンチャク 他
自家採集(酒沼、大洗マリーナ等)	24回	71種	1,981点	シラウオ、ヒメコウイカ、イトマキヒトデ、アラメ 他
生物交換【搬入】 (浅虫水族館、仙台うみの杜水族館、八景島シーパラダイス 他5園館)	7回	7種	307点	スケトウダラ、タカアシガニ、クラゲ類 他
生物交換【搬出】 (浅虫水族館、サンシャイン水族館、八景島シーパラダイス 他7園館)	8回	11種	4,832点	バリキャットシャーク、トラザメ、クロヘリメジロザメ、クラゲ類 他

(イ) 生物展示の充実

- ・室戸沖の深海生物をテーマとする「おもしろ生物 1~4 水槽」について、現地よりスズキアカスジエビなど18種101点を搬入したほか、当館初展示となるオオコブシガニ、アベゲングについては当館HP上で情報の発信を行った。
- ・室蘭水族館(姉妹水族館)との生物交換は、新型コロナウイルス感染症により中止とした。
- ・日本では2館のみで展示している希少なイモリザメは、3月31日現在で飼育日数が6,971日に達し、日本における飼育記録を更新中である。
- ・新型コロナウイルス感染症により、今年度は企画展の実施を見合わせた。
- ・周年事業の一環として開催した上流水槽での給餌体験を、同年5月18日より周年事業として再開し、延べ16,719人の参加者数となった。

(ウ) 生物の繁殖育成

サメ・エイ類では、タイワンザメ、イヌザメ、ハルマヘラエパウレットシャーク等 10 種約 207 点、ダンゴウオ、ポットベリーシーホース、アツモリウオ、ヤリタナゴの 4 種、クラゲ類ではミズクラゲ、サムクラゲ、アマガサクラゲ等 10 種が繁殖し、一部を展示に供した。

種の保存を目的とするムハンヤマメの育成活動は、前年度に「花貫川清流の里づくり会」より搬入した受精卵から稚魚を育成し、現在順調に飼育中である。

シロワニについては、継続して飼育水温や照明時間を調整し繁殖を試みた結果、2月12日に親魚に胎動が見られ、妊娠が確認できたため、出産に向けて観察を続けている。

(エ) 調査・研究

本県に来遊するサメ類の調査として、アオザメ等 4 種 5 点を収集し、各部位を計測後解剖しデータを収集した。また、シロシュモクザメについては長期飼育(半年以上)することができた。

ウミガメ類の漂着調査については、アカウミガメ 4 個体を NPO 法人エバーラスティング・ネイチャーとの共同研究として解剖し、胃内容物などのデータを収集した。

また、大洗マリーナ内で 4 回の潜水目視調査を行い、季節毎の来遊魚を観察し、一部を採集展示した。

(オ) 研究発表

当館で確認されたサメの単為生殖を発表した。(日本水産学会誌掲載)

(カ) 展示解説等

新型コロナウイルス感染症により、給餌解説などはお客様の密状態を避けるため中止した。

水中対話ショー「アクアウォッチング」については、ソーシャルディスタンスを確保するために、1日1回オーシャンライブと同時刻に実施した。

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、ニッコウイワナ、ウグイ、ドチザメ等 66 種 888 点を展示した。

また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、磯採集等で収集を行い展示生物の充実を図ったほか、海の日やサイエンスデーでは、「ぬり絵図鑑」の配布、「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力を努めた。

イ 海獣展示

展示については、イルカ・アシカオーシャンライブの充実を図り、変化に富んだ演技などで誘客促進に努めた。なお、繁忙期は、オーシャンライブの回数を増加し対応した。

なお、新たに生物の生態等情報の提供及び閑散期の誘客対策として、映像を使用したレクチャー型ライブを、2月10日(水)から3月12日(金)の平日に限り合計で22日間、イルカの「鰭」、アシカの「髭」をテーマに実施した。

繁殖事業として、海鳥においては血統更新を目的とし、エトピリカを12月23日(水)アクアマリンふくしまに1羽(メス)搬出し、1羽(オス)を搬入した。同様に、フンボルトペンギンも2月19日(金)に桐生が岡動物園へ1羽(メス)を搬出し、1羽(オス)を搬入した。

また、他の飼育動物についても、血縁関係や雑種防止などを考慮してペアリングさせ、健全な繁殖計画を推進した。

新規搬入動物については、4月18日（土）にカナダカワウソ2頭（メス）を搬入し、令和3年3月20日（土）から一般公開し展示を開始した。更に、ゴマフアザラシにおいては、7月8日（水）に加茂水族館より「しょうへい」（オス、2歳）を12月11日（金）に大阪・海遊館から「ひすい」（メス、2歳）を搬入し、それぞれ9月16日（水）、令和3年1月23日（土）に屋外水槽で展示を開始した。

調査研究については、茨城県沿岸に漂着及び混獲した生物の調査、研究を関係団体と協力して実施した。

（ア）展示の充実

オーシャンライブについては、夏期、ハロウィン、クリスマスと1年を通じて変化に富み季節感ある構成に心掛けた。土曜日の夜（8月2回、9月1回、10月2回）に特別ライブを実施し、イルカではロケットジャンプなどの水中パフォーマンスも取り入れた迫力あるパフォーマンスを提供した。

さらに、12月18日（金）から、リニューアルオープンに伴いオーシャンシアターのLED照明を増設したうえでオリジナル楽曲も制作し、音楽と光を駆使した演出のナイトライブを新たに延べ19回開催した。

なお、内容については、「新たなる旅立ち」としたテーマによるリニューアルを経て未来へと向かう水族館のイメージを表現し、ライブ中のMCを排除したほか、冬季夜間では初となるイルカとトレーナーの水中パフォーマンスを取り入れるなど、ナイトアクアリウムを象徴する新たなコンテンツとして好評を博した。

（イ）生物繁殖事業の推進

鰭脚類は、カリフォルニアアシカ（愛称：プリン）が妊娠し、7月23日（月）仔獣（性別：メス、体重：7.41kg、体長：66cm、1日令）を出産し順調に育成中である。

なお、エトピリカについては、8卵の産卵が確認され、2羽が順調に成長している。

また、ペンギンについては、産卵が確認できたが、抱卵途中で破卵したため繁殖個体は確保できなかった。

（ウ）調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類30件の調査を実施し、各種データの収集に努めたほか、鯨類6個体の腸内フローラを茨城県北家畜保健衛生所に協力を頂き調査解析を継続した。

（エ）展示解説等

新型コロナウイルス感染症により屋内の給餌解説（エトピリカ、ゴマフアザラシ、カワウソ）は中止としたが、屋外のフンボルトペンギン、ミナミアメリカオットセイは、「お食事タイム」を継続した。また、新規搬入個体による屋外のゴマフアザラシの給餌解説を10月15日（木）から開始した。

なお、継続事業として、「イルカと泳ごう2020」を8月24日（月）から9月30日（水）まで計23回実施し、参加者は136名で好評を得た。

また、新規事業として、イルカタッチ体験を1月13日（水）から3月12日（金）まで計19回実施し、433名の参加者があった。

アシカのお習字については、1月16日（土）から3月31日（水）まで計16回実施したが、参加者は31名と少なく、告知や応募方法及び内容や実施方法、金額設定などに課題が残り、改善していく。

ペンギン給餌体験については、クリスマスイベントとして11月13日（金）から12月25日（金）まで実施し、参加者数388人（計38回）、3月20日（土）から3月31日（水）の実施は、参加者数242人（計12回）となり好評であった。

区 分	場 所	回 数	参加者数
イルカと泳ごう 2020	ライブ用デモプール	延べ23回	136人
イルカタッチ体験	ライブ用デモプール	延べ19回	433人
アシカのお習字	ライブ用デモプール	延べ16回	31人
ペンギン給餌体験	ペンギン水槽	延べ50回	630人

（3）教育普及事業

「楽しみながら学ぶ」をテーマに様々な活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上半期の事業はすべて中止となった。10月以降については、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ徐々に館内解説活動を開始するとともに、新たな試みとして、Webを用いた講座を2件行った。

ア 発見体験学習

募集型の事業として「自然体験塾」、「マスタースクール」を予定しており、一部募集も開始していたが、コロナ禍の影響を受け、すべて中止となった。

イ レクチャー及び展示解説

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして各種プログラムを実施する予定であったが、上半期についてはコロナ禍の影響によりすべて中止となり、10月以降感染症の状況を見つつ徐々に再開する形となった。なお、館内の密集対策のため、開催日時や時刻などについては、随時見直しを行いながらの開催となった。

昨年まで開催していた「水族館探検ツアー」については、密を防ぐための定員減をしたうえで、消毒等を徹底し、来館者への公平性を担保するために有料プログラム「バックヤードツアー」とし、10月に再開した。バックヤードツアーに関しては、6か月間でのべ1,795名の参加、897千円余の収入となった。

12月18日にリニューアルオープンしたシャークダイズルームについては、新しいプログラムとして、VR映像を用いたサメの解説「What's shark」を開始した。

区 分	場 所	回 数	参加者数
なるほど魚っちんぐ	お魚発見教室内	2回/日	2,761人
アクアウォッチング	出会いの海の大水槽	2回/日、平日のみ	2,448人
What's shark	シャークダイズルーム (リニューアルエリア)	2回/日+夜1回/日	2,188人
バックヤードツアー	館内バックヤード	休日(2回/日) 有料500円/日	1,795人

ウ コンピュータ情報運用管理

館内の情報端末において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関して情報発信を行ったほか、コンピュータシステムの正常な稼働を確保するための管理を行ったが、端末の老朽化や感染症対策のため、一部端末の撤去を行った。

エ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行う予定であったが、コロナ禍のため、すべての活動を休止せざるを得なかった。しかし、情報の共有・連携の確保のため、下半期については概ね月1回の役員会を開催した。

オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校の一部の小学校へ配付した。(発行部数：38号4,000部、39号4,000部)

カ 海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

タッチングプールについては、密を避ける目的で観覧のみの対応とした。

なお、レクチャールームでの「なるほど魚っちんぐ」については、人数制限を行いながら11月以降再開した。

キ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして各種館外活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症により、10月以降のみの対応となった。なお、学校団体より要請のあったWeb授業については、今年度初めて対応した。

区分	実施日	対象	内容	参加者数
講師派遣	10月28日(水)	城里町立常北中学校	職業講話	40人
Web授業	12月4日(金)	波崎市立波崎第二中学校	職業講話	60人
講師派遣	3月6日(土)	とちぎ海浜自然の家	講話	60人
講師派遣	3月6日(土)	原子力科学館	講話	40人
Web授業	3月16日(火)	神栖市立第四中学校	職業講話	50人

ク 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

区分	対象	件数	参加者数
館内レクチャー	中学生～大学生	3件	88人
バックヤード見学	小学生～大学・専門学校生	28件	1,746人

ケ 実習生等の受入れ

博物館相当施設として社会教育機能の役割を果たすため実習生等を受け入れていたが、新型コロナウイルス感染症により、今年度は中止となった。

コ 生物解説アプリ

新たな生物解説のアイテムとして、スマートフォンを活用した「かざす AI 図鑑」(リンネレンズ)の運用を行うとともに、水槽展示の刷新に伴い、アプリ内情報の更新を行った。

(4) 交流・連携事業(誘客促進)

新型コロナウイルスにより、令和2年度は、2度の臨時休館を余儀なくされた。特に、第1回目の臨時休館期間は、ゴールデンウィークや団体が最も多い時期であったため、取入面において大きな痛手を受けた。さらに、夏休み期間においても積極的なプロモーションができなかったため、誘客関係費用を大幅に切り詰めるなどの抑制に努めた。

しかしながら、夏以降については、新たな環境変化に対して能動的に構えることなく、コロナ禍におけるマイナス側面をプラスに変えるための戦略的な販売方法を取り入れた。Webチケットによる日時指定券の販売や人数限定のナイト事業を実施するなど、お客様に「安心・安全」と「プレミアム感」を提供することにより、夏から秋にかけてのナイト事業は、ほぼ完売するなどの好成績を取ることができ、スタッフにおいても大きな自信につながった。

また、秋以降になるとGoTo事業が全国規模で開催されたため、当館においても、それが追い風となり、10月以降は順調に入場者数を伸ばすことができた。さらに、12月には大規模リニューアルオープンを迎えることができ、新規展示物と特別プログラムで新たにスタートをきることができた。

翌1月になると再び新型コロナウイルスの影響が出始め、1月後半から2度目の臨時休館を余儀なくされた。しかし、3月に入ると全国的な緩和ムードもあり、総入場者ベースで例年の8割近くにまで回復するなど、個人客が少しずつ戻り始め、次年度に向けて弾みをつけることができた。

ア 広報実績

コロナ禍の下、プロモーション活動の自粛を余儀なくされる中、12月のリニューアルオープンを中心に、新聞、情報誌、Web、SNSなどの各種広報媒体で県内外の方にプロモーションを行うとともに、テレビ・ラジオや新聞等の取材に積極的に対応し、当館の魅力を紹介した。なお、リニューアルオープン情報をはじめ、生物情報やイベント情報などの各種メディアリリースを主に地元の新聞社、テレビ局等に配信したほか、新たなプロモーションの手法として「Web PR」を導入し、メディアリリース配信サービスサイトを利用して約300媒体への情報配信を行った。

区分	有料広報			無料広報		
	R2実績 (A)	R1実績 (B)	増減 (A)-(B)	R2実績 (C)	R1実績 (D)	増減 (C)-(D)
新聞掲載	2件	16件	△14件	154件	185件	△31件
タウン誌	1件	6件	△5件	19件	5件	14件
情報誌	16件	16件	0件	28件	73件	△45件
広報誌	8件	5件	3件	15件	6件	9件
テレビ	7件	36件	△29件	45件	49件	△4件
ラジオ	13件	6件	7件	3件	4件	△1件
Web	81件	44件	37件	38件	36件	2件
その他	8件	1件	7件	1件	13件	△12件
計	136件	130件	6件	303件	371件	△68件

(ア) 有料広報

有料広報活動は、リニューアルオープンの情報を中心に、本県及び近隣県である栃木、千葉、埼玉を中心に、新聞、タウン誌、情報誌、Web、鉄道広告など、各ジャンルの媒体を用いて幅広く広報活動を行った。なお、リニューアルオープンのグラフィックデザインを制作し、各媒体の共通デザインとして使用することにより、効果的な情報発信を行うとともにイメージの定着を図った。また、前年度に引き続き、Web系広告への移行を図る中、Google 広告「GDN」や「Yahoo!JAPAN」インフォード広告の発信により、県外のスマートフォン・PCユーザーへの広報を行った。

さらに、消費者の情報の入手方法が紙媒体から Web 媒体へと急速に移行していることから、新規のプロモーション方法として「Web PR」を導入。これにより既存のプレスリリースではカバーしきれなかった膨大なニュースサイト等に対して情報を発信することが可能になった。8月以降、Web チケット案内やイベント情報などを、約 300 の広報媒体へ配信を行った。

(イ) 無料広報

無料広報については、コロナ禍の状況下で情報発信が制限される中、SNS による臨時休館中の飼育生物の様子を配信し好評を得た。また、新聞、テレビ・ラジオ等のマス・メディアへ情報発信したほか、各種タウン誌・情報誌へ引き続き情報発信を行い、様々なジャンルでの情報掲載に結び付けた。

イ アンケート調査の実施

毎月第 4 日曜日車輦調査、毎月第 4 日曜日入館者調査

ウ 催事等

今年度は例年とは大きく異なり、感染対策の徹底と混雑回避が不可欠となり、入場者数減少に伴う収入減を補うため、館内での客単価アップを施策の大きな目的のひとつとし、有料プログラムを積極的に取り入れた。下半期からは本格的にチームごとに各催事の計画から運営、報告までを対応するスタイルを確立した。夜間営業を除く催事での有料イベントにおけるイベント収入の合計は、1,880 千円余（昨年度 709 千円余、264.8%）となった。

また、今年度より本格的に夜間営業を開始し、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し定員を 250 名から 500 名で設定し「宴夜」や「オトナアクアワールド」など、夜間営業の中でもイベント内容に変化を持たせながら実施した。

(日中営業)

実施日	催事名	入場者数
7月23日(土)～9月30日(土)	みんなのアクアワールド	225,173人
9月25日(土)～12月18日(金)	リニューアルオープン PR 特設コーナー設置	—
9月12日(土)～11月1日(日)	アクアワールド・ハロウィン2020	144,401人
11月13日(金)～12月25日(金)	アクアワールド☆クリスマス2020	65,097人
12月26日(土)～1月11日(月・祝)	新春アクアワールド	36,554人
3月6日(土)～4月11日(日)	SPRING アクアワールド	69,269人
計	6事業	540,494人

(夜間営業)

実施日	催事名	入場者数
8月8日(土)・22日(土)・29日(土)	宴夜(えんや)	971人
9月19日(土)～21日(月)	ナイトアクアワールド	1,162人
10月24日(土) 31日(土)	ハロウィンナイト	762人
11月21日(土)・22日(日)・28日(土)	オトナアクアリウム	1,124人
12月18日(金)	OPENING NIGHT	447人
12月19日(土)～30日(水) 1月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日) 3月20日(土)・27日(土)	Night Aquaworld	5,616人
3月6日(土)・13日(土)	アーティストナイト	472人
計	7事業	10,554人

エ リニューアル記念式典の開催

平成14年3月開館以来初の大規模リニューアルを行い、茨城県知事出席のもと、県議会議長や大洗町長を来賓として迎え、リニューアル記念式典を開催した。

また、記念式典開催前にメディア関係者や県関係者、地元大洗町民を招待してリニューアル内覧会を2日間実施した。

式典名	開催日時	販売枚数/着券枚数	参加費
リニューアル記念式典 OPENING NIGHT	12月18日(金) 18:00～20:30	482枚/447枚	大人 3,000円 小中 1,000円

(リニューアル内覧会)

内覧会① 12月15日(火) 17:00 受付開始	来場者 茨城県関係(県議・副知事 計50名) 大洗町関係(135名)、財団関係者(5名)
内覧会② 12月16日(水) 16:00 メディア受付開始 17:30 町民受付開始	来場者 副知事、大洗町長、大洗町民(393名) メディア関係(13社)、観光業者(10社)

オ オペレーション等

(ア) Web 販売

7月18日(土)より、アソビュー!株式会社と連携し日時指定型のWebチケットを導入した。チケットの販売数に上限を設けることにより、繁忙期である夏期及びシルバーウィークの入場者数のコントロールに努めた。また、「NIGHT AQUAWORLD」をはじめとする夜間イベントにおいても当該Webチケットのシステムを活用し、当日販売がないことによるイベント配置人員の削減、容易な予約管理など効率化が図れた。

(入場者数管理を目的とした Web チケットの販売)

区 分	内 容
①夏期通常期間 7月18日(土)～8月7日(金) 8月17日(月)～8月31日(月)	窓口販売・日時指定 Web チケット併用 入場規制時は、Web チケット優先入場 (年パス新規作成中止、団体受付中止)
②お盆期間 8月8日(土)～8月16日(日)	Web チケットのみ販売・入場 (年パス新規作成中止、団体受付中止、障害者手帳所有者は 窓口にて販売)
③シルバーウィーク 9月19日(土)～20日(火・祝)	窓口販売・日時指定 Web チケット併用 入場規制時は、Web チケット優先入場 (年パス新規作成は可、団体受付は土日祝日の為不可)
④正月 1月1日(金・祝)～3日(日)	窓口販売・Web チケット併用 入場規制時は、Web チケット優先入場 (年パス新規作成は可、団体受付は土日祝日の為不可)

※上記以外にも GoTo イベントキャンペーン適用チケットとして、日中の Web チケットの販売実績あり。
(12月3日(水)～1月17日(日))

(イ) 窓口・インフォメーション業務

区 分	内 容
新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・もぎりや総合に飛沫防止の亚克力板設置。 ・もぎりにはチケット受け渡し用のトレイ配置。 ・プロムナードに密接防止のため足跡を設置。 ・入場カウンターを設置し、館内滞留者の調整。 ・1時間ごとの消毒、入場時の検温・手指消毒。 ・館内放送による密集・密接防止のお願い。
団体予約制限 6月27日(土)～	入場者数管理の観点から団体予約受付を平日のみとし、上限を設定。(上限：1,000名/日)
ミライロ ID 導入 7月20日(月)～	電子障害者手帳を利用可能にし、障害者の施設利用に対する利便性を向上した。
地元商品券の利用促進 ・大洗町プレミアム付商品券 ・子育て世帯支援商品券 ・大洗町高齢者生活支援商品券	大洗町発行の商品券の利用に対応。地元町民との結びつきにアプローチした。
めんたいパーク大洗との提携	当館においては、年間パスポートの新規作成時に明太パーク大洗のレシート提示で、めんたいパーク大洗では当館の年間パスポート提示で、それぞれ「ちょっぴりプレゼント」を進呈。地域連携の強化を図った。
GoTo 事業への参画	国土交通省による GoTo トラベル事業、経済産業省による GoTo イベント事業に参画。特に県外客へ向けた誘客促進を図り、一定の利用があったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により12月末から中止となった。

カ 営業活動等

コロナ禍による緊急事態宣言で、令和2年4月11日（土）から5月17日（日）と令和3年1月18日（月）から2月9日（火）の期間が閉館となるなど年間を通してコロナ禍の影響を受け、当初予定していた営業活動はできなかったが、もう一つの案件であった地元との関係強化を図る足がかりをつくることができた。

（ア）営業活動

- ・ナイトアクアワールドの誘致活動
県内の公共施設及び県内外観光施設へのパンフレット及びポスターの掲出
- ・リニューアルのPR活動
県内の公共施設及び県内外観光施設へのパンフレット及びポスターの掲出
- ・アンテナショップ「イバラキセンス」でのパンフレット及びポスターの掲出
- ・県内外の観光業者等へダイレクトメールの発送（コロナ禍のため訪問営業を自粛）
発送数：県内外180件
- ・旅行者を通し、周辺の中学校へ立志式利用を案内（実施に至らず）
- ・宿泊プラン商品を造成（3月末までの試行）し、9宿泊施設に商品として提供
実績：5施設41人の送客
- ・各県教育委員会と連携を図った学校等への情報発信

区 分	教育委員会	幼稚園	小学校	中学校	高 校	合 計
茨城県	(44)	239	468	209	96	1,012
栃木県	(25)	—	350	149	—	499
埼玉県	(22)	—	306	126	—	432
千葉県	(23)	—	415	209	—	624
群馬県	(19)	—	214	119	—	333
福島県	(24)	—	212	145	—	357
合 計	(157)	239	1,965	957	96	3,257

（イ）大洗町との関係強化

- ・大洗町との会議の開催
- ・めんたいパーク大洗とのコラボ企画の構築
- ・大洗町発行商品券の水族館での利用促進

利用月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合 計
利用枚数（枚）	30	55	68	61	35	29	31	309
利用金額（円）	30,000	55,000	68,000	61,000	35,000	29,000	31,000	309,000

- ・うみまちテラスを利用したPR活動
- ・町内中学校（一中・南中）3年生の思い出作りお手伝い企画（借切り事業）
実施日時：3月5日（金）8：00～10：00
参加人数：136名
取 材：茨城新聞・朝日新聞・日本経済新聞・東京新聞・水戸経済新聞・TBS
- ・大洗町ふるさと納税返礼品の新たな商品を検討中

(ウ) 水族館の新たな利用方法の創出

- ・ユニークベニューへ参画するため受け入れ方法を構築した。(3月末まで試行)

受入れ日：12月5日(土)

利用人数：1団体(60名)

収 入：240千円

- ・成人式の水族館開催について大洗町と話し合いを継続

(エ) オンライン会議

- ・八景島シーパラダイスの営業担当と情報の共有とアドバイスを受ける。

(10月以降、月1回のペースで計5回実施)

(オ) その他

- ・天空海関応援水槽の設置

初場所に向けて大洗町出身の大相撲「天空海関」への応援水槽の展示を予定していたが、コロナ禍による閉館で中止となり、三月場所に改めて水槽を展示した。

実施日：3月6日(土)～4月11日(日)、取材：NHK・朝日デジタル

(5) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全を確保するため、有事の際に迅速な避難誘導を行えるよう、通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練、AED及び救命救急講習を開催し、職員の危機管理対応力の向上に努めたほか、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量の測定を毎日継続したとともに、その結果をホームページにて公表し、安全性のアピールにも努めた。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、入場者を制限したことにより、例年実施しているゴールデンウィーク期間及びお盆期間等の繁忙期間中、大洗港第4埠頭を臨時駐車場として借用した無料のシャトルバス運行を行うことはなかったが、隣接する大洗公園駐車場の一部分の活用方法を関係機関と協議のうえ、無料開放を実施し、入場者数の動向に対応した渋滞緩和対策に努めた。

イ 助成金の活用

水中ドローンを用いた水槽内生物の新規解説プログラム構築に向けたトライアルの費用を、「海の博物館活動サポート」Aコース博物館活動支援対象事業に申請し採択された。

(1,125千円)

「宴夜～大人のためのナイトアクアリウム～」イベントの費用を、新観光プロジェクト応援事業協賛金に申請し採択された。

(500千円)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県有施設の休館措置(4/11～5/17 37日間)に伴い、県から支援金が支給された。

(167,482千円)

ウ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業では、休館日を利用して実施していた先進施設視察研修は、コロナ禍により中止することにしたが、接遇研修はコロナ禍に対応できる接遇マナーという内容で実施した。

エ 施設整備

中長期修繕計画を基本に各種修繕工事を実施するとともに、強風や高潮等の自然災害による建築設備修繕並びに機械設備の経年劣化等不具合による突発的な修繕に対応するなど、施設の安全・維持管理対策に努めた。また、リニューアルに伴い、館内監視カメラ設備や非常通報装置の移設工事を実施し、引き続き入場者に安心・安全な環境を提供したことに加え、ダイズルームに有線放送設備を新たに整備し、積極的な来館者サービス向上も図り、延べ110件（昨年162件）の工事を実施した。

さらに、機械設備の経年劣化に対応するため、ヒートポンプチラー更新、5階空調機械室バックヤード給排気ファン更新を実施し、建築設備では令和3年度まで工期延長となった外壁塗装改修工事を実施した。

省エネルギーについては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水使用量の見直しやLED照明への転換を進めたことに加え、リニューアル工事に伴いLED照明等省エネ性能に配慮した機器の導入に努めた。また、営業時間の見直しによるエネルギー使用量の削減及び省エネ結果として、省エネ法で定めるエネルギー使用量5年平均1%以上削減目標を達成し、前年比4%削減することができた。2016年度から事業者クラス分け評価制度において、5年連続Sクラス省エネ優良事業者（目標達成事業者）として、資源エネルギー庁のホームページで公表された。

4 収益事業2（水族館売店事業）

（1）物販部門

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、新型コロナウイルス感染症感染防止として4月から休館となったが、再開以降も感染防止対策を行いながら、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のミュージアムショップ、コーヒーショップの運営を行った。

なお、7月1日のプラスチック製レジ袋有料化義務化に伴い、法令に準じ適正な運用を行った。スーパーマーケット「モラモラ」においては、レジ毎に列を設けて誘導していたが、ソーシャルディスタンスの案内を行うため、レジ前のスペースを確保し、フォーク並びを導入し店内の混雑緩和に努めたほか、レジトラブル時における待機列の対処も可能となった。

その中で他館では購入できないオリジナル商品の開発・販売に注力し、カナダカワウソのぬいぐるみや、ステイショナリー等の取り扱いを開始し、売上向上に努めた。

今年度も「すみっこぐらし」水族館限定の新商品の取り扱いを行った。その後、当館限定「えびふらいのしっぽ」の「てのりぬいぐるみ」と「あつめてぬいぐるみ」を販売し、ツイッター等SNSでも大きな反響を呼び、予想を大きく上回り完売となり、追加再販して販売を継続している。また、レジ袋有料化義務化に伴い、ペットボトル再生100%のオリジナルサステイナブルバックを販売し、レジ袋消費の削減にもつながり、環境へ配慮した取り組みのアピールがなされた。

更にオリジナルの布マスクや、抗菌マスクケース、除菌シート、紙せっけんなど、その時々ニーズに合わせた衛生商品の展開で売上促進に努めたほか、GoTo トラベル事業においては、12月28日に停止となるまで地域共通クーポンの利用により、11月の売上は過去最高を記録し、収入増に繋がった。

ミュージアムショップ「ガレオス」では、リニューアル改装に伴い、11月からリニューアルオープンまで営業を休止した。リニューアル後は、コレクターズショップ「ガレオス」と店名も変更し、店舗の雰囲気もシャークダイズルームとの一体感を持たせる構成となった。リニューアルに関連したクラゲやサメをモチーフに、特色ある商品や高価格ながらも専門性のある高品質な商品を揃えることで、モラモラとの差別化を図り売上げの向上に努めた。今までシステム上販売していなかった一部菓子類の販売も可能にして、リニューアル関連商品の構成力のアップを図った。他にも、数量限定でのリニューアルオープン記念のセット商品や、福袋の販売等を行い、売上げの向上に努めた。

コロナ禍の状況により、夏季期間にはオーシャンシアター前でのワゴン販売を中止したため、アクアホールでの外部委託業者によるデザート類の販売を行い、手数料での収益を確保した。

（2）飲食部門

コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」は、8月の夜間営業の特別イベント「宴夜」において、シャークナゲットとサメカツをセットにした特別販売や、「アクアワールド・ハロウィン2020」に併せたかぼちゃの限定メニューを販売するなど特別メニューの販売を行った。

なお、科学館のリニューアル改装に伴い10月からは飲食スペースがオーシャンデッキのみに限られ、11月からリニューアルオープンまでの間は営業を休止した。

その後のオープンに伴い、夜間営業時の新規メニューの開発販売を行い、更なる売上げの向上を目指し、ナイトアクア入館時にナイト限定メニューのチラシ配布を行った。

また、オーシャンナイトライブ開始前には、ライブを楽しみながら飲食が出来る様に、ドリンクと軽食の販売をライブ会場前での移動販売も試験的に開始した。加えて3月には新たにナイトアクア限定メニュー4品も追加した。

更に春イベントに併せた限定メニューの販売も行い、話題性と収入増を図った。

(売上実績)

(単位：円)

物販部門		飲食部門	
区 分	売上額	区 分	売上額
モラモラ・ガレオス (R2 計画比) (R1 実績比)	356,337,706 (△34,622,805) (△203,552,106)	マーメイドギャラリー (R2 計画比) (R1 実績比)	45,521,240 (△10,481,243) (△38,933,220)
自動販売機 (R2 計画比) (R1 実績比)	5,749,004 (△1,353,520) (△2,423,299)	—	—
計 (R2 計画比) (R1 実績比)	362,086,710 (△35,976,325) (△205,975,405)	計 (R2 計画比) (R1 実績比)	45,521,240 (△10,481,243) (△38,933,220)
水族館売店事業合計 (R2 計画比) (R1 実績比)		407,607,950 (△46,457,568) (△244,908,625)	

(利用率)

物販部門		飲食部門	
総入場者数(A) (R1 実績)	645,052 人 (1,054,343 人)	総入場者数(A) (R1 実績)	645,052 人 (1,054,343 人)
利用件数(B) (R1 実績)	162,000 件 (281,671 件)	利用件数(B) (R1 実績)	48,892 件 (93,045 件)
利用率(B)/(A) (R1 実績)	25.1% (26.7%)	利用率(B)/(A) (R1 実績)	7.6% (8.8%)

※利用件数は、レシート発行数による利用。

5 法人運営事業

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館を効果的効率的に運営管理するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理を行ったほか、ストレスチェックを財団全体で実施しメンタルヘルスケアの強化にも努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で極めて厳しい経営環境を改善するため、各種助成金（雇用調整助成金、持続化給付金 他）を活用し積極的に申請し財源を確保するとともに、茨城県立県民文化センターの次期指定管理の申請及び第5期中期経営計画の策定を行った。

(1) 理事会・評議員会等開催実績

項目	開催日	議案
監事監査	5月12日(火)	令和元年度事業報告及び決算
令和2年度第1回理事会 (決議の省略による理事会)	5月14日(木)	第1号議案：令和2年度事業計画の一部修正について 第2号議案：令和元年度事業報告及び決算について 第3号議案：令和2年度定時評議員会の招集について
令和2年度定時評議員会 (出席人数 10/11)	5月29日(金)	第1号議案：理事2名選任の件 第2号議案：令和元年度決算について
令和2年度第2回理事会 (決議の省略による理事会)	5月29日(金)	提案事項：代表理事の選定について
令和2年度第3回理事会 (出席人数 11/12)	7月29日(水)	議案：令和2年度補正事業計画及び補正予算承認の件
監事監査	12月11日(金)	令和2年度上半期事業報告及び決算
令和2年度第4回理事会 (出席人数 11/12)	12月21日(月)	第1号議案：令和3年度自主公演事業計画及び収支見込み承認の件 第2号議案：令和2年度臨時評議員会招集の件
令和2年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会)	1月6日(水)	提案事項：評議員1名選任の件
令和2年度第5回理事会 (出席人数 11/12)	2月18日(木)	議案：令和3年度アクアワールド茨城県大洗水族館開館20周年記念事業計画承認の件
令和2年度第6回理事会 (出席人数 10/12)	3月26日(金)	第1号議案：第5期中期経営計画承認の件 第2号議案：令和3年度事業計画及び収支予算承認の件 第3号議案：令和3年度役員賠償責任保険継続加入の件

(2) 新型コロナウイルス感染症関連助成金申請実績

NO	項目	内容	助成額
1	法人	持続化給付金	2,000,000円
2	文化振興推進事業	文化庁芸術収益力強化事業	9,862,652円
3	指定管理事業 (県民文化センター)	文化庁文化芸術振興費補助金 いばらきアマビエちゃん事業者登録協力金	348,000円 30,000円
4	大洗水族館事業	文化庁文化芸術振興費補助金 雇用調整助成金(有期雇用職員4月・5月分) 緊急雇用安定助成金(看護師4月・5月分) いばらきアマビエちゃん事業者登録協力金	588,000円 7,775,458円 127,908円 30,000円
計			20,762,018円

令和2年度 正味財産増減計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	312,900	312,900	0
基本財産等受取利息	312,900	312,900	0
② 特定資産運用益	2,093,599	3,082,852	△ 989,253
退職給付引当資産運用益	47,849	813,584	△ 765,735
積立資産運用益	2,045,750	2,269,268	△ 223,518
③ 事業収益	1,588,892,019	2,394,159,927	△ 805,267,908
自主公演入場料収益	2,932,400	13,255,550	△ 10,323,150
受託公演入場料収益	0	7,920,800	△ 7,920,800
手数料収益	1,821,360	14,630,245	△ 12,808,885
負担金収益	2,145,000	2,170,000	△ 25,000
受託公演委託金収益	21,176,504	43,702,742	△ 22,526,238
県民文化センター指定管理収益	208,820,400	190,741,333	18,079,067
県民文化センター利用料収益	39,880,445	95,232,279	△ 55,351,834
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	15,733,646	15,673,601	60,045
水族館入場料収益	879,225,330	1,296,304,620	△ 417,079,290
飲食料収益	0	22,031,923	△ 22,031,923
売店収益	409,419,824	666,036,544	△ 256,616,720
駐車場利用料収益	7,737,110	26,460,290	△ 18,723,180
④ 受取補助金等	255,789,875	54,493,825	201,296,050
受取財団運営費補助金	51,983,457	52,736,451	△ 752,994
県有施設支援金収益	178,969,000	0	178,969,000
受取助成金	24,837,418	1,757,374	23,080,044
⑤ 雑収益	20,412,596	12,734,531	7,678,065
雑収益	20,412,596	12,734,531	7,678,065
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0
経常収益計(A)	1,867,500,989	2,464,784,035	△ 597,283,046
(2) 経常費用			
① 事業費	1,986,587,671	2,481,312,515	△ 494,724,844
文化活動団体等助成金	5,916,000	13,486,000	△ 7,570,000
役員報酬	11,534,371	12,629,093	△ 1,094,722
給料手当	517,658,504	438,255,911	79,402,593
臨時雇賃金	2,397,376	162,262,514	△ 159,865,138
福利厚生費	6,835,924	1,933,946	4,901,978
法定福利費	82,583,692	96,808,426	△ 14,224,734
報償費	8,099,263	7,456,956	642,307
旅費交通費	1,898,142	5,987,625	△ 4,089,483
接待交際費	40,000	39,063	937
消耗品費	35,656,979	59,433,579	△ 23,776,600
燃料費	35,797,900	49,218,494	△ 13,420,594
会議費	249,978	757,249	△ 507,271
印刷製本費	10,693,800	20,949,722	△ 10,255,922
光熱水費	154,874,356	184,417,135	△ 29,542,779
修繕費	34,666,257	48,189,887	△ 13,523,630
飼料費	23,681,375	23,221,022	460,353
医薬材料費	1,341,944	735,538	606,406
賄材料費	18,170,014	41,217,200	△ 23,047,186
通信運搬費	4,354,443	5,286,153	△ 931,710
広告宣伝費	9,497,062	31,148,936	△ 21,651,874
支払手数料	37,774,423	67,319,959	△ 29,545,536
保険料	1,910,590	1,590,145	320,445
委託費	522,244,897	542,608,739	△ 20,363,842
賃借料	29,064,737	42,509,082	△ 13,444,345

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
工事請負費	2,109,800	29,662,906	△ 27,553,106
原材料費	219,381,184	358,274,939	△ 138,893,755
生物購入費	10,128,414	11,156,652	△ 1,028,238
消耗備品費	0	0	0
支払負担金	1,580,268	3,890,973	△ 2,310,705
租税公課	49,362,300	55,463,145	△ 6,100,845
退職給付費用	29,081,704	27,389,569	1,692,135
雑 費	16,023	53,303	△ 37,280
修繕工事負担金	95,672,850	113,023,920	△ 17,351,070
累納付金	0	7,920,800	△ 7,920,800
減価償却費	22,313,101	17,013,934	5,299,167
② 管理費	12,609,626	11,833,103	776,523
役員報酬	1,444,058	1,405,972	38,086
給料手当	3,978,470	2,466,052	1,512,418
臨時雇賃金	0	211,418	△ 211,418
福利厚生費	56,193	2,706	53,487
法定福利費	761,485	583,286	178,199
旅費交通費	39,998	99,043	△ 59,045
接待交際費	0	937	△ 937
消耗品費	650,068	744,605	△ 94,537
燃料費	17,742	16,258	1,484
会議費	11,668	61,183	△ 49,515
印刷製本費	480,172	590,372	△ 110,200
光熱水費	110,098	0	110,098
医薬材料費	0	0	0
通信運搬費	310,375	334,611	△ 24,236
広告宣伝費	0	211,113	△ 211,113
支払手数料	134,764	581,021	△ 446,257
保険料	166,406	42,976	123,430
委託費	665,814	786,420	△ 120,606
賃借料	794,963	636,805	158,158
支払負担金	566,353	725,180	△ 158,827
租税公課	50,250	44,445	5,805
退職給付費用	2,290,145	2,156,892	133,253
雑費	0	0	0
減価償却費	80,604	131,808	△ 51,204
経常費用計(B)	1,999,197,297	2,493,145,618	△ 493,948,321
当期経常増減額(A)-(B)	△ 131,696,308	△ 28,361,583	△ 103,334,725
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除去損			
固定資産売却・除却損	160,792	1,333,094	△ 1,172,302
経常外費用計(D)	160,792	1,333,094	△ 1,172,302
当期経常外増減額(C)-(D)	△ 160,792	△ 1,333,094	1,172,302
当期一般正味財産増減額	△ 131,857,100	△ 29,694,677	△ 102,162,423
一般正味財産期首残高	1,334,178,179	1,363,872,856	△ 29,694,677
一般正味財産期末残高	1,202,321,079	1,334,178,179	△ 131,857,100
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	565,000,000	565,000,000	0
指定正味財産期末残高	565,000,000	565,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,767,321,079	1,899,178,179	△ 131,857,100

令和2年度 正味財産増減計算書内訳表
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主事業	収2 水族館売店事業	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	312,900	0	312,900	0	0	0	0	312,900
② 特定資産運用益	1,984,493	81,155	2,065,648	7,483	16,975	24,458	3,493	2,093,599
③ 事業収益	272,284,973	894,958,976	1,167,243,949	14,040,120	407,607,950	421,648,070	0	1,588,892,019
自主公済入場料収益	2,932,400	0	2,932,400	0	0	0	0	2,932,400
委託公済入場料収益	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料収益	1,437,910	0	1,437,910	383,450	0	383,450	0	1,821,360
負担金収益	2,145,000	0	2,145,000	0	0	0	0	2,145,000
委託公済委託金収益	21,176,504	0	21,176,504	0	0	0	0	21,176,504
県民文化センター指定管理収益	208,820,400	0	208,820,400	0	0	0	0	208,820,400
県民文化センター利用料収益	35,772,759	0	35,772,759	4,107,686	0	4,107,686	0	39,880,445
自然博物館水系展示水情管理委託金収益	0	15,733,646	15,733,646	0	0	0	0	15,733,646
水族館入場料収益	0	879,225,330	879,225,330	0	0	0	0	879,225,330
売店収益	0	0	0	1,811,874	407,607,950	409,419,824	0	409,419,824
駐車場利用料収益	0	0	0	7,737,110	0	7,737,110	0	7,737,110
④ 受取補助金等	45,772,982	175,610,051	221,383,033	0	22,174,617	22,174,617	12,232,225	255,789,875
受取財団運営費補助金	21,595,330	20,155,902	41,751,232	0	0	0	10,232,225	51,983,457
県有施設支援金収益	11,487,000	145,307,383	156,794,383	0	22,174,617	22,174,617	0	178,969,000
受取助成金	12,890,652	10,146,766	22,837,418	0	0	0	2,000,000	24,837,418
⑤ 雑収益	556,923	12,721,912	13,278,835	2,080	6,757,773	6,759,853	373,908	20,412,596
雑収益	556,923	12,721,912	13,278,835	2,080	6,757,773	6,759,853	373,908	20,412,596
⑥ 指定正味財産からの根拠額	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計(A)	320,912,271	1,083,372,094	1,404,284,365	14,049,683	436,557,315	450,606,998	12,609,626	1,867,500,989
(2) 経常費用								
① 事業費	320,129,685	1,183,465,891	1,503,595,576	20,585,280	462,406,815	482,992,095		1,986,587,671
文化活動団体等助成金	5,916,000	0	5,916,000	0	0	0		5,916,000
役員報酬	3,077,830	7,400,497	10,478,327	0	1,056,044	1,056,044		11,534,371
給与手当	112,964,826	326,865,952	439,830,778	5,100,353	72,727,373	77,827,726		517,658,504
臨時雇賃金	62,053	789,434	851,487	0	1,545,889	1,545,889		2,397,376
福利厚生費	1,467,216	4,419,649	5,886,865	69,192	879,867	949,059		6,835,924
法定福利費	18,145,812	52,981,718	71,127,530	828,526	10,527,636	11,456,162		82,583,692
報償費	7,417,370	681,893	8,099,263	0	0	0		8,099,263
旅費交通費	1,313,125	584,108	1,897,233	909	0	909		1,898,142
接待交際費	0	40,000	40,000	0	0	0		40,000
消耗品費	6,827,341	20,081,861	26,909,202	93,930	8,653,847	8,747,777		35,656,979
燃料費	2,198,443	29,154,778	31,353,221	403	4,444,276	4,444,679		35,797,900
会議費	168,329	66,328	234,657	265	15,056	15,321		249,978
印刷製本費	4,521,245	5,021,736	9,542,983	10,913	1,139,904	1,150,817		10,693,800
光熱水料費	16,716,209	119,200,865	135,917,074	766,648	18,190,634	18,957,282		154,874,356
修繕費	15,648,380	17,195,174	32,843,554	32,560	1,790,143	1,822,703		34,666,257
飼料費	0	23,681,375	23,681,375	0	0	0		23,681,375
医薬材料費	14,549	1,151,648	1,166,197	0	175,747	175,747		1,341,944
賄材料費	0	0	0	0	18,170,014	18,170,014		18,170,014
通信運搬費	1,929,611	1,867,396	3,797,007	8,323	549,113	557,436		4,354,443
広告宣伝費	1,165,180	8,331,882	9,497,062	0	0	0		9,497,062
支払手数料	4,603,831	24,876,546	29,480,377	69,062	8,224,984	8,294,046		37,774,423
保険料	704,673	734,828	1,439,501	174,811	296,278	471,089		1,910,590
委託費	84,654,812	370,314,958	454,969,770	9,986,448	57,288,679	67,275,127		522,244,897
賃借料	10,702,181	14,749,649	25,451,830	179,027	3,433,880	3,612,907		29,064,737
工事請負費	0	2,106,450	2,106,450	0	3,350	3,350		2,109,800
原材料費	0	0	0	1,466,393	217,914,791	219,381,184		219,381,184
生物購入費	0	10,128,414	10,128,414	0	0	0		10,128,414
支払負担金	448,967	889,960	1,338,927	13,325	228,016	241,341		1,580,268
租税公課	10,093,665	25,159,567	35,253,232	655,876	13,453,192	14,109,068		49,362,300
退職給付費用	7,278,269	17,034,914	24,313,183	909,784	3,858,737	4,768,521		29,081,704
雑費	6,500	9,523	16,023	0	0	0		16,023
修繕工事負担金	0	83,132,471	83,132,471	0	12,540,379	12,540,379		95,672,850
県納付金	0	0	0	0	0	0		0
減価償却費	2,063,268	14,812,315	16,875,583	218,532	5,198,986	5,417,518		22,313,101

令和2年度 正味財産増減計算書内訳表
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 文化自主事業 センター	収2 水族館売店事業	小計		
② 管理費							12,609,626	12,609,626
役員報酬							1,444,058	1,444,058
給料手当							3,978,470	3,978,470
臨時雇賃金							0	0
福利厚生費							56,193	56,193
法定福利費							761,485	761,485
報償費							0	0
旅費交通費							39,998	39,998
接待交際費							0	0
消耗品費							650,068	650,068
燃料費							17,742	17,742
会議費							11,668	11,668
印刷製本費							480,172	480,172
水熱水費							110,098	110,098
修繕費							0	0
医薬材料費							0	0
通信運搬費							310,375	310,375
広告宣伝費							0	0
支払手数料							134,764	134,764
保険料							166,406	166,406
委託費							665,814	665,814
賃借料							794,963	794,963
支払負担金							566,353	566,353
租税公課							50,250	50,250
退職給付費用							2,290,145	2,290,145
雑費							0	0
減価償却費							80,604	80,604
経常費用計(B)	320,129,685	1,183,465,891	1,503,595,576	20,585,280	462,406,815	482,992,095	12,609,626	1,999,197,297
当期経常増減額(A)-(B)	782,586	△ 100,093,797	△ 99,311,211	△ 6,535,597	△ 25,849,500	△ 32,385,097	0	△ 131,696,308
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産除去損	0	148,882	148,882	0	11,910	11,910	0	160,792
固定資産除却損	0	148,882	148,882	0	11,910	11,910	0	160,792
経常外費用計(D)	0	148,882	148,882	0	11,910	11,910	0	160,792
当期経常外増減額(C)-(D)	0	△ 148,882	△ 148,882	0	△ 11,910	△ 11,910	0	△ 160,792
他会計振替額(E)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	782,586	△ 100,242,679	△ 99,460,093	△ 6,535,597	△ 25,861,410	△ 32,397,007	0	△ 131,657,100
一般正味財産期首残高	159,857,340	752,268,310	912,125,650	57,607,332	351,059,253	421,676,585	375,944	1,334,178,179
一般正味財産期末残高	160,639,926	652,025,631	812,665,557	51,071,735	338,207,843	389,279,578	375,944	1,202,321,079
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0
① 一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
指定正味財産期末残高	565,000,000	0	565,000,000	0	0	0	0	565,000,000
III 正味財産期末残高	725,639,926	652,025,631	1,377,665,557	51,071,735	338,207,843	389,279,578	375,944	1,767,321,079

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	45,761,542	36,172,724	9,588,818
預金	436,595,431	506,860,919	△ 70,265,488
普通預金	402,337,672	506,860,919	△ 104,523,247
定期預金	34,257,759	0	34,257,759
有価証券	0	0	0
前払費用	0	112,500	△ 112,500
仮払金	21,370,532	36,427,768	△ 15,057,236
未収金	44,998,062	23,827,040	21,171,022
貯蔵品	30,286,388	23,056,067	7,230,321
流動資産合計	579,011,955	626,457,018	△ 47,445,063
2 固定資産			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
茨城県債貸付	30,000,000	30,000,000	0
基金財産	0	0	0
有価証券	0	0	0
普通預金	0	0	0
基本財産等合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	516,342,066	544,207,465	△ 27,865,399
助成事業積立資産	535,000,000	535,000,000	0
文化振興事業積立資産	58,338,497	58,331,484	7,013
施設設備修繕等積立資産	216,291,609	216,270,955	20,654
事業資金積立資産	213,416,227	213,396,174	20,053
緊急時対応積立資産	121,421,584	231,403,414	△ 109,981,830
特定費用準備資金	55,465,008	59,796,142	△ 4,331,134
文化活動助成事業資金	55,465,008	59,796,142	△ 4,331,134
発電機修繕等準備資金	0	0	0
資産取得資金	128,768,901	128,757,425	11,476
減価償却資産取得資金	128,768,901	128,757,425	11,476
特定資産合計	1,845,043,892	1,987,163,059	△ 142,119,167
(3) その他固定資産			
建物	0	0	0
建物減価償却累計額	0	0	0
構築物	43,930,405	44,869,210	△ 938,805
構築物減価償却累計額	△ 37,245,892	△ 36,642,376	△ 603,516
車両運搬具	4,852,024	4,852,024	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,010,052	△ 3,589,699	△ 420,353
什器備品	177,032,825	177,459,726	△ 426,901
什器備品減価償却累計額	△ 149,507,204	△ 142,366,988	△ 7,140,216
リース資産	40,361,760	40,361,760	0
リース資産減価償却累計額	△ 20,863,836	△ 12,791,484	△ 8,072,352
電話加入権	307,545	307,545	0
投資有価証券	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	54,907,575	72,509,718	△ 17,602,143
固定資産合計	1,929,951,467	2,089,672,777	△ 159,721,310
資産合計	2,508,963,422	2,716,129,795	△ 207,166,373

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	170,902,744	191,594,326	△ 20,691,582
仮受金	23,718,923	39,722,497	△ 16,003,574
前受金	11,180,686	13,857,052	△ 2,676,366
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	205,802,353	245,173,875	△ 39,371,522
2 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	516,342,066	544,207,465	△ 27,865,399
リース負債	19,497,924	27,570,276	△ 8,072,352
仮受金	0	0	0
固定負債合計	535,839,990	571,777,741	△ 35,937,751
負債合計	741,642,343	816,951,616	△ 75,309,273
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	565,000,000	565,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(535,000,000)	(535,000,000)	(0)
2 一般正味財産	1,202,321,079	1,334,178,179	△ 131,857,100
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(793,701,826)	(907,955,594)	(△ 114,253,768)
正味財産合計	1,767,321,079	1,899,178,179	△ 131,857,100
負債及び正味財産合計	2,508,963,422	2,716,129,795	△ 207,166,373

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。

（会計方針の変更）

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 退職給付引当金の計上基準について

勲奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

(5) リース取引の会計処理について

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

（ア） リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	リース資産
取得価額相当額	40,361,760
減価償却累計額相当額	20,863,836
期末残高相当額	19,497,924

（イ） 未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	1年超	合計
取得価額相当額	7,953,552	11,544,372	19,497,924

（ウ） 当期の支払リース料、減価償却費相当額

支払リース料	8,072,532
減価償却費相当額	8,072,352

（エ） 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
茨城県債貸付(金融消費貸借契約)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	544,207,465	31,371,849	59,237,248	516,342,066
助成事業積立資産	535,000,000	0	0	535,000,000
文化振興事業積立資産	58,331,484	7,013	0	58,338,497
財団振興積立資産	0	0	0	0
施設設備修繕等積立資産	216,270,955	20,654	0	216,291,609
事業資金積立資産	213,396,174	22,058	2,005	213,416,227
緊急時対応積立資産	231,403,414	18,170	110,000,000	121,421,584
文化活動助成事業資金	59,796,142	2,984	4,334,118	55,465,008
発電機修繕等準備資金	0	0	0	0
減価償却資産取得資金	128,757,425	11,476	0	128,768,901
小 計	1,987,163,059	31,454,204	173,573,371	1,845,043,892
合 計	2,017,163,059	31,454,204	173,573,371	1,875,043,892

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
茨城県債貸付(金融消費貸借契約)	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	516,342,066	—	—	(516,342,066)
助成事業積立資産	535,000,000	(535,000,000)	—	—
文化振興事業積立資産	58,338,497	—	(58,338,497)	—
財団振興積立資産	0	—	(0)	—
施設設備修繕等積立資産	216,291,609	—	(216,291,609)	—
事業資金積立資産	213,416,227	—	(213,416,227)	—
緊急時対応積立資産	121,421,584	—	(121,421,584)	—
文化活動助成事業資金	55,465,008	—	(55,465,008)	—
減価償却資産取得資金	128,768,901	—	(128,768,901)	—
小 計	1,845,043,892	(535,000,000)	(793,701,826)	(516,342,066)
合 計	1,875,043,892	(565,000,000)	(793,701,826)	(516,342,066)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(建物付属設備)	(0)	(0)	(0)
建物付属設備	0	0	0
(構築物)	(43,930,405)	(37,245,892)	(6,684,513)
構築物	43,930,405	37,245,892	6,684,513
(車両運搬具)	(4,852,024)	(4,010,052)	(841,972)
車両運搬具	4,852,024	4,010,052	841,972
(器具・備品)	(177,032,825)	(149,507,204)	(27,525,621)
器具・備品	177,032,825	149,507,204	27,525,621
(電話加入権)	(307,545)	(0)	(307,545)
電話加入権	307,545	0	307,545
(リース資産)	(40,361,760)	(20,863,836)	(19,497,924)
リース資産	40,361,760	20,863,836	19,497,924
(投資有価証券)	(50,000)	(0)	(50,000)
投資有価証券	50,000	0	50,000
合 計	266,534,559	211,626,984	54,907,575

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益	備 考
有価証券	(0)	(0)	(0)	
	0	0	0	
合 計	0	0	0	

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
財団運営費補助金	茨城県	0	51,983,457	51,983,457	0	一般正味財産
県有施設支援金	茨城県	0	178,969,000	178,969,000	0	一般正味財産
助成金収益	公益財団法人日本海事科学振興財団船の科学館		1,125,400	1,125,400	0	一般正味財産
	茨城県信用組合千波支店	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	後藤 四朗	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
	中小企業庁	0	2,000,000	2,000,000	0	一般正味財産
	茨城労働局	0	7,903,366	7,903,366	0	一般正味財産
	水戸信用金庫	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	茨城県信用保証協会	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
	第一熱学建設株式会社	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
	増山英和税理士事務所	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
	株式会社茨城ポータルシティ	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
	漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
	茨城県	0	60,000	60,000	0	一般正味財産
	公益財団法人常陽藝文センター	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
	公益財団法人げんでんふれあい茨城財団	0	1,300,000	1,300,000	0	一般正味財産
	文化庁	0	936,000	936,000	0	一般正味財産
	公益社団法人全国公立文化施設協会	0	9,862,652	9,862,652	0	一般正味財産
合計		0	255,789,875	255,789,875	0	

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
文化活動助成事業資金取崩額分一般正味財産への振替額	0
合計	0

8 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	544,207,465	47,849	24,979,489	2,933,759	516,342,066

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定財産の明細は、計算書類に対する注記2、基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

2 引当金の明細

引当金の明細は、計算書類に対する注記8、引当金の明細に記載のとおりである。

財産目録
令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	年度末売上金及び運転資金として	45,761,542
預金	普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 住信SBIネット銀行 茨城県信用組合千波支店 定期預金 大和ネクスト銀行ピシヤモン支店		(436,595,431) 126,268,728 276,067,194 1,500 250 34,257,759
仮払金	文化振興部門ほか 他	会計間の繰入支出戻入分及び保険料 個人負担分 他	21,370,532
未収金	事業に係る未収額 他	入場料収入, 県委託金収入 他	44,998,062
貯蔵品	カフェ, 売店商品	翌年度事業に供する貯蔵品	30,286,388
流動資産合計			579,011,955
(固定資産)			
基本財産	基本財産	茨城県債貸付	(30,000,000) 30,000,000
特定資産	退職給付引当資産	職員に対する退職金の支給に備えるため	(1,845,043,892) (516,342,066)
		普通預金 常陽銀行県庁支店 水戸信用金庫本店 定期預金 水戸信用金庫本店 大和ネクスト銀行ピシヤモン支店 住信SBIネット銀行	31,324,055 46,463 172,000,000 62,130,000 250,841,548
	助成事業積立資産	茨城県債貸付	(535,000,000) 535,000,000
	文化振興事業積立資産	公1の公演事業等に使用	(58,338,497)
		普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 三井住友銀行水戸支店 定期預金 茨城県信用組合千波支店 三井住友銀行水戸支店	8,318,484 8,005 12,008 20,000,000 30,000,000
	施設設備修繕等積立資産	公2及び収2の水族館に係る施設設備の 修繕等に使用	(216,291,609) 1,288,763
		普通預金 常陽銀行県庁支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 筑波銀行泉町支店	200,000,000 15,002,846
	事業資金積立資産	公2の水族館に係る展示替え等に使用	(213,416,227)
		普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店	53,404,196 12,031 100,000,000 60,000,000

その他固定資産	緊急時対応積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店	公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に使用 取1のセンター自主事業に係る事業継続等に使用	(121,421,584) 1,410,396 8,000,158 11,030 0 2,000,000 110,000,000
	特定費用準備資金 文化活動助成事業資金	普通預金 常陽銀行県庁支店 住信SBIネット銀行 定期預金 住信SBIネット銀行	文化活動助成事業に使用	[55,465,008] (55,465,008) 12,675,787 828 42,788,393
	資産取得資金 減価償却資産取得資金	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店	法人運営に必要な固定資産の更新に使用	[128,768,901] 2,535,608 8,021 86,225,272 40,000,000
	構築物	水戸市千波町東久保697 他 駐車場案内表示板 他 ホールディングプール下倉庫 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	6,684,513
	車両運搬具	大洗町磯浜町8252-3 アクセラ、フォークリフト 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	841,972
	什器備品	水戸市千波町東久保697 他 金庫、勤怠管理システム 他 料金所エアコン 他 セミクジラ骨格標本 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	27,525,621
	リース資産	水戸市千波町東久保697 他 会場予約管理システム、4トラック 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	19,497,924
	電話加入権	水戸市千波町東久保697	公益目的事業の用に供している	307,545
	投資有価証券	茨城県信用組合千波支店	茨城県信用組合への出資	50,000
	固定資産合計			
資産合計				2,508,963,422
(流動負債)	未払金	事業に係る未払額 他	文化活動団体への助成金未払い 退職金、電気料 他	170,902,744
	仮受金	事業に係る仮受額 他	共催公演入場料仮受	23,718,923
	前受金	事業に係る前受額 他	利用料金前受	11,180,686
流動負債合計				205,802,353
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	516,342,066
	リース債務	水戸市千波町東久保697 他 会場予約管理システム 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	19,497,924
固定負債合計				535,839,990
負債合計				741,642,343
正味財産				1,767,321,079